



お問い合わせ先 岡崎市役所 総務部人事課
〒444-8601 愛知県岡崎市十王町二丁目9番地
TEL: 0564-23-6092 FAX: 0564-23-6546
H P: <https://www.city.okazaki.lg.jp/>



岡崎の、 未来を描こう

2025年度 岡崎市職員採用案内



OKAZAKI CITY

岡崎の未来のために、
あなたらしく働いてみませんか？



人	□	383,141人 (R6.4.1現在)
世帯数		170,248世帯 (R6.4.1現在)
面積		387.20km ²
職員数		3,953人 (R6.4.1現在)



岡崎の環境を守るため、 不法投棄は許さない！

現在の仕事内容について教えてください。

廃棄物に関する適正処理指導や監視をする仕事です。主には市民の方等の通報やパトロールで発覚した不適正処理や不法投棄、野焼きに対する指導、監視を担当しています。法律に沿って廃棄物が適正に処理されるよう指導をします。

同じ廃棄物でも発生する工程で法律上の扱いが変わるため、どのように処理したらよいかといった市民の方や事業者からの相談にも応じています。

魅力、やりがいは何ですか？

担当した現場の廃棄物が全てなくなったところを見ることができた時に達成感が感じられます。不適正な事案を発見してから1日で片付いてしまう場合もありますが、反対に全てなくなるまでに数年かかる場合もあります。単に片づけてもらうのではなく、何が違反なのかを根気よく説明し理解してもらうことで早期改善や違反の再発防止に繋がると考えています。

また、市民の方からの通報による対応の際には、結果を報告した時に直接感謝の言葉をかけていただけることもやりがいに繋がっています。

職場の雰囲気について教えてください。

定期的に係内で打ち合わせを行うなど自分の意見を伝える場や悩みを解消する場が多い環境です。日々の業務で判断に迷うこともありますが、誰にでも相談できることで判断に自信が持て、正しい指導に繋がっていると考えています。

環境部は部全体としても繋がりが多く働きやすい職場であると感じています。自分の課では対応しがたい内容は課を越えて相談できるため、迅速かつ適切に対応することができます。



ワークライフバランスはどのようにですか？

プライベートでは全国でも活躍できるようなサッカー審判員を目指して活動をしています。私の課では、基本的に休日の従事がないのでその時間を利用して審判活動に打ち込みます。

試合では喜怒哀楽すべてに遭遇する機会があり、様々な相手と接する事のある仕事に役立っていると感じています。

日ごろのトレーニングの時間を確保するため、課で決められたノー残業デーの他にも個人的にノー残業デーを設定して、メリハリをつけながらどちらも真剣に取り組んでいます。

受験生へのメッセージ

職員の個性が強みとして発揮できることが岡崎市の良さであり、求められているものであると考えています。就活時には、これまでに自分が経験してきたことや成し遂げたことを全面に出してほしいと思います。それが自分自身への自信に繋がります。岡崎市へ「個性、強み」として映ると思います！

この「個性、強み」をさらに活かすために様々な分野の研修やチューター制度があります。

今、真剣に取り組んでいることがある人は、岡崎市でその経験を活かしてみませんか？



入庁1年目の働き方

年次休暇取得

10日

(職員平均14.2日)

平均残業時間

11h/月

(職員平均11.1h)

土日出勤

9日

(平日に代休を取得)

部署での宴会

4回

(歓送迎会、暑気払いなど)

同期との飲み会

24回

現在の仕事内容とその魅力を教えてください。

地域の方々自らが主体となってまちづくりを行う、「組合施行土地区画整理事業」の計画の策定・事業の実施の支援や、地域主体で行うまちづくりの技術的な支援を担当しています。

藤田医科大学岡崎医療センターや大規模商業施設などを誘致している「岡崎駅南土地区画整理事業」のまちづくりについて、事業主体である土地区画整理組合、愛知県や市の関係部署との協議調整などを行っています。

また、現在岡崎市で東岡崎駅の整備と並ぶ重要なまちづくりの事業である、本宿駅周辺における広域観光交流拠点（アウトレット）の整備のため、民間事業者や地元企業、官公庁との様々な調整業務と、隣接する地域拠点地区での土地区画整理事業による新たなまちづくりの計画策定と事業化を担当しています。土地区画整理事業などの「市街地開発事業」は、既存のまちを大きく変える、20～30年後のまちの姿・都市基盤を決定づける重要な事業です。道路や公園、駅前広場など、公共施設をたどつくるだけでなく、その空間がどのように市民や事業者に使われるかを意識して計画し、さらに、公共施設だけでなく、商業・業務・住宅などの利用できる土地を創り出すことが重要です。まさに、「まち」を総合的に創る事業であり、そのために、多くの知識と経験が必要で、日々、新しい情報を取り入れながら、創意工夫して計画を考えることは、常に新鮮であり、大変やりがいを感じます。

また、まちづくりの事業は、地域の方、民間企業の方、まちづくり団体や大学の先生・学生など、多くの人が関わります。立場の異なる様々な人と一緒に協力・連携して、頑張る地元の方・市民の方と、直接接して応援・支援できるという、大変やりがいがある業務です。その中で必要とされる「行政にしかできないこと（専門的知識の提供や制度自体の構築など）」にしっかりと取り組み、まちづくりの事業が、官民一体のチームで、皆で協力して成立するということに、大変魅力を感じています。

これから岡崎市をどのようなまちにしていきたいですか。

岡崎市には古くからの歴史や文化がまちの背景として多く残っており、それを大切に、活かしながら、新しいまちの要素を足していくことが重要だと思っています。（私自身、徳川家康公&大樹寺が大好きです。）

また、市民や民間の方が、岡崎市や各地域に魅力を感じてもらい、積極的に自ら関わっていただけるようなまちにするため、その基盤づくりを地域の方と一緒に進めていきたいと考えています。

私自身、岡崎市で生まれ育ち、現在まで地元で暮らしています。自分の子供たちにも、岡崎に住み続けたいと思ってもらえるような、魅力あるまちにしていきたいです。

岡崎市への就職を考えている人へ熱いメッセージを。

市役所が所管する技術系部署の業務は、都市計画、市街地整備、公園、道路、上下水道、建築指導、公共建築と多岐にわたっており、市の技術系職員は人事異動によって土木・建築の幅広い仕事を経験しながら知識と技術を身に付けることができ、それを次の担当業務でさらに活かしていけるという、まちづくりのゼネラリストを目指せる仕事です。また、その時々で市民・地域から求められることが変化するため、例えば都市再生・地域再生の事業や震災復興など、通常時には存在しない新たなプロジェクトが生まれ、それを担当することも少なくありません。

柔軟な思考とバイタリティー溢れる、土木や建築にもちょっと詳しい岡崎市職員を、皆様が目指してくださるのを期待しています。

また、近年、岡崎市では市外出身者が多く採用されていますが、市のまちづくり施策を考えるには、私のような地元出身の職員と、市外出身で新たな視点で岡崎市を見る職員の両方が必要であり、混じり合っってより良い施策が生まれると実感しています。私たちと一緒に岡崎市のまちを創る、岡崎市の未来を創る仲間をお待ちしています。

Career Path		
年	配属先	主な業務
平成16年	組合指導課	組合施行土地区画整理事業の計画策定・事業運営の支援 (真伝・袁川南部・岡崎駅南)
平成20年	下水工事課	汚水適正処理構想・公共下水道基本計画・公共下水道事業計画策定業務
平成24年	(東日本被災地への派遣) 宮城県亘理町復興まちづくり課	復興まちづくりの事業計画策定業務 防災集団移転・災害公営住宅
平成25年	都市計画課	都市計画マスタープラン改訂・市街化区域編入・防災都市づくり計画策定 など
平成31年 (令和元年)	都市施設課	QURUWA戦略による 公民連携まちづくり推進業務
令和3年 ～現在	市街地整備課	本宿駅周辺拠点整備業務 (区画整理&アウトレット)

今まで経験した部署の中で印象に残った業務

【宮城県亘理町復興まちづくり課（主査）】

東日本大震災の被災自治体である宮城県亘理町へ派遣となり、津波で被災した沿岸部の市街地から内陸部への集団移転事業と、災害公営住宅の計画を担当しました。対象となる被災者の方全てに個別面談して個々の移転の意向を確認し、移転先の用地確保と新しいまちの計画をつくり、早期の造成工事の着手を成し遂げることができました。

被災者の方の個々の事情を踏まえた上で、一日でも早く生活の再建ができるよう、亘理町職員の方と一緒に知恵を絞り、事業を前へ前へと進めていった経験は、現在でも自分自身の宝となっています。

【都市計画課（主査→主任主査）】

被災地での経験を生かして、愛知県と連携して地域住民の方と「事前復興まちづくり模擬訓練」に取り組み、「もし大地震でまちが被災したら、どのように復興するか」というワークショップを企画しました。これをきっかけに、市全体の災害危険度判定調査の実施、防災都市づくり計画の策定といった業務に取り組みました。

一方で、市の総合計画や各種計画と連携・調整を図り、本市の都市計画の大前提である、都市計画マスタープランの改定を担当しました。改定内容は現在担当している本宿駅周辺のまちづくり事業の最初の一歩であり、違う立場でも継続して一つの事業に取り組むことができるのも、行政のまちづくり担当職員の魅力であると感じています。

【都市施設課 QURUWA戦略係（係長）】

新たに創設されたQURUWA戦略係で係長となり、乙川リバーフロント地区の公共空間のリノベーション事業を活かして、公民連携でまちの活性化（市民の暮らしの質の向上とエリアの価値の向上）を図るQURUWA戦略の業務を担当しました。「岡崎の中心市街地を何とかしたい」と考える民間の方、市民の方は実は非常に多いです。中でも、籠田公園や中央緑道の活用を軸に、地元の町内会の方々が中心となって、自らのまちを盛り上げていくという強い意志で、新しいコミュニティをつくり、若手を発掘しながら、数々の地元のイベントを積極的に企画・実行してくださいました。その後グッドデザイン賞も受賞されたのですが、最初に地元の方から相談を受けたとき「地域主体の動きは、思いっきり支援するべき」と直感で感じて、担当として力を入れて取り組むという判断が、その後のまちの皆さんの勢いと頑張りにつながってくれたのではないかと感じています。

柔軟性とバイタリティー溢れる 「土木分野も詳しい市の職員」でありたい。

市の技術系職員として、各専門分野に詳しくなるのは当然ですが、

それしかできない人材になってはいけない、「土木分野にも詳しい市の職員」でありたいといつも考えています。

都市計画やまちづくりは、様々な分野、要素を広く考えて、将来のまちの姿を創り出さなければなりません。

「岡崎市を良いまちにする」という同じ目的に向かって動いているのは土木分野だけではないため、

全体を見て幅広い視点での思考ができるよう心掛けています。

岡崎市は他の自治体に比べ、特色のある面白いまちづくりの事業が多いと思います。

新しいことを取り入れ、職員の創意工夫がまちづくりに反映できる、

そんな環境が整っているからであると、強く感じています。

撮影場所：岡崎駅南土地区画整理事業の新しいまち

技術職

都市基盤部市街地整備課
瀧波 主任主査(係長)
(平成16年度採用)

緑の下の力持ちを目指して、
岡崎の未来を陰ながら支える仕事

総合政策部秘書課
後藤 主査 (平成19年度採用)

現在の仕事内容について教えてください。

市制記念式、親善ゆかり都市との交流、新年交礼会など幅広く業務を担当しています。中でも、市制施行記念式は、市制施行日である7月1日に毎年開催し、新たな門出と一層の飛躍を期し、市の発展に功績を残された方々を表彰します。式典当日は、主催者である市長等を始め、国会議員、表彰者など様々な方が来場され、きめ細かな配慮を必要としますが、周りの職員と助け合いながら仕事を進めています。

仕事と育児の両立について印象に残っている出来事がありますか？

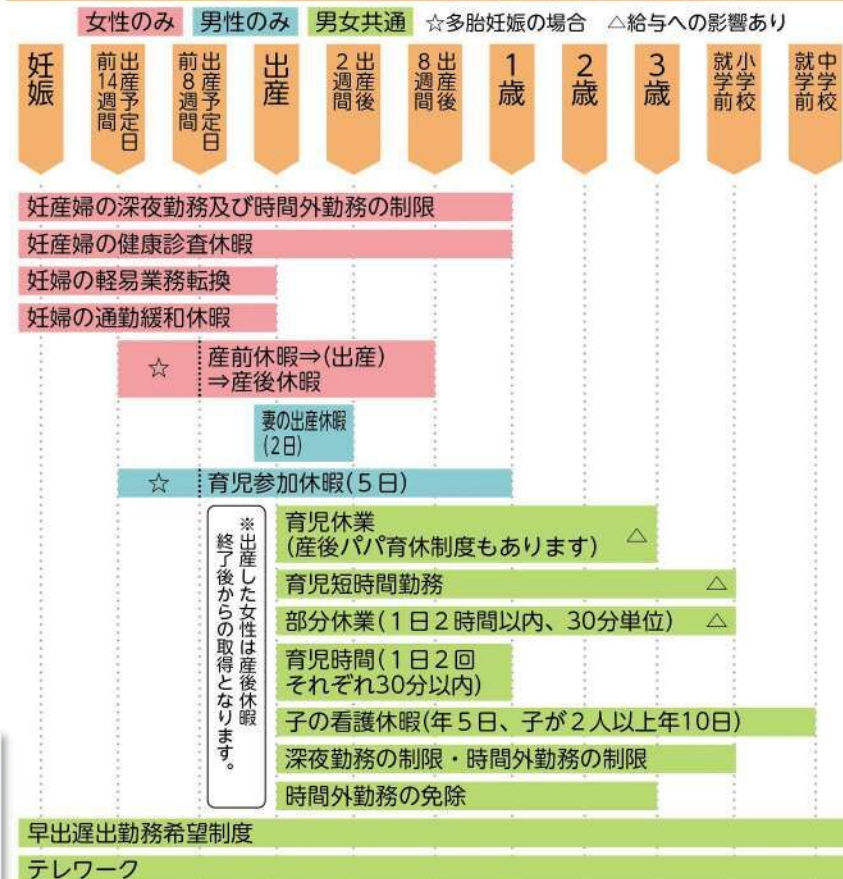
当時は万全の準備をして育児休業復帰したつもりでしたが、復帰1カ月も経たないうちに上の子(当時4歳)が高熱による付添入院となり、早速大ピンチの状況に。下の子(当時1歳7カ月)のお世話は家族に任せ、仕事は職場の方々のフォローのおかげで、何とか乗り切れました。育児は自分ではコントロールできない事があると痛感し、それ以来、「明日やれば良いか」から「明日来れない場合はどうするか」へと考え方が変わり、タイムマネジメントを強く意識するようになりました。

子育てを視野に入れて就職を考える受験生へのメッセージ

岡崎市には、ロールモデルとなるような方がたくさんいます。仕事の先輩・同僚としても、親としても、お手本にさせてもらっています。そして、制度が整っている事も魅力の一つです。産前産後休暇・育児休業はもちろん、育児復帰前後にはフォローアップ研修があり、部分休業(1日2時間までの短時)や子の看護休暇、時差勤務、テレワークなどの制度を活用できます。また、子育て中は自己研鑽の時間確保が難しいですが、通信教育やeラーニング等無理なく学べる環境が整っています。子育てもキャリアも諦めない、そんな生き方を実現している先輩方がたくさんいます。将来的に仕事と育児の両立を目指している方は、ぜひ岡崎市のために一緒に働きませんか？



仕事と育児の両立を支援するための制度 (令和6年11月現在)



育休中から復帰後の職員をサポートする研修

- ・育休中職員向けセミナー
- ・育休復帰者バックアップ研修
- ・メンター研修





新人職員 CROSS

■岡崎市を選んだ理由や決め手って何？

牧 昔住民票を取りに行くことがあったんだけど、東庁舎のさ、ガラス張りのエレベーターに乗ったときに見た景色が何とも言えない解放感があって。職員と市民が一体化している雰囲気があると思って、こういうところで働きたいなと思ったのがきっかけなんです。川澄さんは？

川澄 岡崎市はまちづくりが、なんていうか、社会福祉とか生活のインフラを支えるだけじゃなくて、豊かな生活を作ろうとする取り組みを盛んにやっているのが魅力的だった。

石堂 私は教育委員会のインターンにいったんだけど、すごい責任感を持ってやっている職員ばかりで、それが印象的だったな。そういう人たちと一緒に働きたいなって。

橋本 私は大学生の時に県外に住んでたから、地元の良さがわかって、岡崎に戻ってきたいなって思ったこと。でも最終的な決め手は、面接官。面接官の印象が他の市に比べて一番良かったから。

安藤 俺は、大学のオンライン説明会で、職員の方と話したときに人柄がすごいあったかくて。それを見て、この人たちと一緒に働きたいなっていう未来が見えた。

■職場の雰囲気はどんな感じ？

安藤 思ってたよりめっちゃ明るい。仕事の話もするし、プライベートの話もするし、フランクな感じの雰囲気かな。課内で完結する仕事が多いと思ってたんだけど、いろんな課や事業者に電話かけたりする。もう毎日、1日の3分の1は電話しているくらい。入る前には想像してなかったし、電話はすごい苦手だったんだけど、今はプライベートでもお店の予約とかバンバンとれるようになったかな。

牧 僕の所属は、メリハリがすごいしっかりしてて、チャイムが鳴った瞬間にオンになって、終わった瞬間にオフになるっていう切り替えがしっかりある。

川澄 私の所属はすごいエネルギーがある人が多いなって思う。年齢の幅はすごい広いんですけど、休みの日でイベント業務に従事する日でも、みんな「よっしゃ行くぞー！」という感じ。結構タフで、プライベートだけじゃなくて仕事にも前向きに取り組む人ばかり。

石堂 私の所属は、同じ係の先輩が仕事前や後に話しかけてくれて、雑談もしてくれるし、みんな優しい。野球観戦と一緒にいたり、飲みに行ったり、係が違ってても年が近い先輩たちと仲良くできて楽しい！

橋本 私の所属も、みんなに負けないくらい仲良いいよ。週1、多いときは週2で一緒にご飯に行く。くだらない話するときもあるけど、災害の時は切り替えてかっちょよく働いてます。



市民安全部防犯交通安全課
牧 事務員

■残業ってある！？

川澄 スポーツ振興課は、イベント前は忙しい！私はまだ全然残業ないけど、自分が任せてもらってるイベントで、今日中にこれ申請出しておきたいな、とか計画的に業務を進めるために残業することもある。

石堂 市民税は、4月と5月が本当に大変で、仕事もまだわかんないのに、残業したなあ。7月後半くらいからゆるやかになって、今はもう全然、毎日定時。

牧 防犯交通安全課は、残業が本当になくて、残業があると在庁を出すんだけど、残る人のが珍しい。今まで残業したのは、まだ2、3回だけかな。

石堂 へええ！

■4月から成長したとを感じることは？

安藤 あ、これは俺本当に感じた。すごい計画的に行動するようになった。大学生のころは全然計画性なく、課題とかギリギリ提出みたいな感じだったけど、今は1か月前、2〜3か月前から準備して当日を迎えるようになって、すごい成長したなって思う。

牧 今まで、学生時代って先生とか教授とか、常に教えてくれる人がいたんだけど、社会人は1から10まで全部教えてくれるわけでもない。自分で分らないこととか、問題を見つけて考えて解決していく姿勢が身についたかな。

川澄 素晴らしい。

石堂 今まで結構おどろきで、これぐらいでもいいやみたいなことをしてきたんだけど、市民の方の大事なお金だから質問も多いし、通知書の隅から隅まで説明できるようにしないとイケないから、責任感とか、細かいところまで注意するっていうのは成長したな。

安藤 見習います。川澄さんは？

川澄 私は最近停滞期入っちゃって……

橋本 停滞期って？

川澄 この半年私は慣れることに精一杯で、自分に与えられた仕事をいかにミスせずに、期限内に、頑張るかかっていうことを意識してきたんだけど、それもまだまだ足りないなって半年経っても思う。もうあと半年の成長に期待かなってところですよ。

安藤 向上心がすごい。

橋本 私は成長というか、個人的に意識してることは「根拠をもつこと」。

全員 ああ〜。わかる。

橋本 4月に先輩から言われたことで、一番響いたというか、今自分に必要なものだなと。書類を作っても、「ここってなんでこれなの」って聞かれたときに、根拠をすぐに答えることができなかったことがあって。ちゃんと調べてからにしようと思った。これは今後どの部署に行っても大事ななって思います。



市民安全部防災課
橋本 事務員

「同期の存在は心の支え」という入庁1年目のメンバーたちは、

職場では昼休みに集まって

悩みを共感してもらったり、先輩に聞きづらいことを聞きあったり、何でも話せる関係性。

プライベートでも遊んだりする仲良しなメンバーに、職場の様子や就職活動について本音を話してもらいました。

TALK

■みんなの就職活動について教えて！

川澄 岡崎市自体を意識したのは、3年生の時にインターンシップに参加した時。具体的に合格に向けて頑張ったことといえば、面接練習かな。大学の就職支援室が自分はちょっと合わなくて。別の支援サービスを自分で探して、オンラインや対面で面接の練習をした。年明けからは週に5回くらい行ってたなあ。

安藤 1週間に5回！？練習の成果は？

川澄 厳しいシチュエーションを練習してもらったら、岡崎市の面接が温かくて、逆に新しいやつ来ちゃった！って焦ったけど、あれだけ練習したんだからって自信持って臨むことができたので、頑張ってたよ。頑張ってたよ。頑張ってたよ。

石堂 私は、大学の学科が公務員を目指すコースで、3年生の夏から友達と毎日朝9時から夜10時まで勉強してたよ。あとは、1次試験が終わった後にまっきーと知り合ってた。

牧 そう。共通の友達につなげてもらって、最終試験まで何回か集まって時事問題とか対策してたね。懐かしい。

石堂 一緒に目標を持ってるとか会ってモチベーション高めてました。まさか同期になるとは思わなかったね。

橋本 私が公務員を目指したのは大学に入ったタイミングぐらいから。県外の大学だったけど県外で働くつもりはなかったから、就活っていわれる3年生くらいから岡崎市を意識してた。大学の公務員講座を最初は授業真面目に受けてたんですけど……

川澄 わかる。

石堂 わかるわかる。

安藤 共感の嵐。

橋本 あと、面接は、自分でネットで質問例を調べて、それをスマホアプリのルーレットに入れて、暇があれば、答える練習してた。

安藤 ルーレット初めて聞いた。俺は、大学3年生までは民間企業とかを中心に見てて、夏は企業のインターン中心。実際岡崎市に行くのかなと思ったのが、12月くらいに説明会で岡崎市の職員を見たのがきっかけだから、だいぶ後だと思ふ。準備としては、SPIコースで受けようと思ってたから、まずはSPIの勉強。参考書を3周くらい解いてばっちりにした。1次試験の時から3次の自己PR試験まで行けるっていう自信があったから、大学生活で自分が何をやってきたんだらうということをしっかり考えて、自己PRの構成を練ってたかな。

牧 自信がすごい。



社会文化部スポーツ振興課
川澄 事務員

■読んでいる方へのメッセージ

安藤 岡崎市役所はたぶんどの市役所よりも一番活気があるというか、明るい。この市をどうにかして良くしようという熱い思いが全員溢れてる。こんなに職員が市のことを考えてる市役所はないと思う。ぜひ一緒に岡崎に入って、自分と一緒にいいまちをしていきましょう。

全員 よっ。(拍手)

石堂 先輩とか同期、みんな個性豊かな人たちだね。面接練習とかしてて、自分は自信がないって思っちゃうかもしれないけど、1人1人の個性をちゃんと見て、面接で判断してくれるっていうのが、岡崎市の良さだと思う。どんな人が来ても、先輩は温かく受け入れてくれるし、協力していいまちをつくっていききたいなと思います。頑張ってください。

橋本 20年間住んでた私が感じることは、岡崎市は都会すぎず田舎すぎず、本当に住みやすいってこと。岡崎市役所は、石堂さんが言ったみたいに本当にいろんな人がいて、部署数も100以上あるから、絶対に自分に合う課がある。

あと、私が選んだ決め手の「最終面接の楽しさ」を伝えたい。面接、ましてや最終面接って堅苦しいものっていうイメージだったけど、岡崎市は面接が終わって「楽しかった」って思えた！それくらい、面接っていうか会話だったから受けやすかったし、楽しく受験できたから推したいな。最後に、学生の皆さんは学生生活をめいっぱい楽しんでください。

川澄 どっちいく？

牧 思いついた？

(無言のせめぎあい)

川澄 ……はい！受験生には、まず心と体の体力がやっぱりある程度あるといいと思う。私は自分が就職活動辛かったんだけど、その中でも日々の積み重ねで頑張ってきた忍耐力みたいなのが、就職活動でも、今の仕事でも生きてくると思う。勉強も大事かと思うんだけどたまには体を動かして気分転換がてら体力をつけたり、もうちょっと頑張ってみようみたいな心の体力も、ちょっと余裕をもって養うようにするといいいかも。頑張ってください！

石堂 トリだよトリ。

牧 今、このページをここまで読んでくださった皆さんは、ここまでで少なくとも岡崎市に興味は持ってもらったかなと思います。試験勉強は大変だと思うし、自己PRの対策も大変だと思うけど、その逆境を乗り越えた自分は結果がどうであれ、絶対に前の自分より強くなっていると思います。もしご縁があれば、情熱と誇りをもって一緒に岡崎市を盛り上げていきましょう。

全員 おー！(拍手)



総合政策部地域創生課
安藤 事務員



財務部市民税課
石堂 事務員



転職経験者



OKAZAKI CITY



転職のきっかけや岡崎市を選んだ決め手を教えてください。

伊藤：前職がゼネコンだったんですけど、やっぱり各地を転々としちゃうんですね。子供も生まれるタイミングだったし、転勤のない仕事にしようと思いました。

近藤：私は結婚したタイミングで岡崎に来ることは決まっていた、教員を続けるか、別の職種にするか迷ったときに、まずは岡崎に溶け込みたいな、って思ったのがきっかけです。家族がこれから増えたりしたときに、巡り巡って家族のためになる仕事に就きたいと思い岡崎市役所にしました。

安井：私は学生時代にあまり公務員という選択肢がなくて、民間企業に就職したんですけど、営業が向いていなくて、転職を考え始めました。年齢的に受けられる市が限られる中、前職で勤務していた支店が岡崎市でゆかりがあったので選びました。地元の市じゃないんですが、岡崎市のほどよい規模感に惹かれて、働く姿が一番イメージできることが決め手です。

宇田：化学職として働ける中核市以上に絞りました。最終的には、面接官の方の人柄とか、市の大きさを考えて岡崎市に決めました。

職場の雰囲気や前職との違いを教えてください。

宇田：公務員ってガチガチに堅いイメージがあったけど、自分の職場は和気あいあいとしていて、雰囲気は前職と正直あんまり変わらないです。

安井：違うな～と思うのは職員の数ですかね、本庁は人がいっぱいいる！って思います。お客さんから見えてるところは同じですね。私はじっとしてるのが好きだけど、外に出回りたいとか一人の時間が欲しいって人は向いてないかなと思います。

宇田：自分は外回りよく行きますけど、確かに一人で行くことってあんまりないですね。

近藤：前職も今もすごいアットホームな感じで、相談しやすい環境なのでありがたいなあと考えてます。学校は全体で動くことが多かったんですけど、市役所はそれぞれの課があって、係もあって、仕事きちんと分担されているなっていうイメージです。自分の役割ってというのがちゃんと明確にあるのが違うかなって思います。

伊藤：担当は分かれていますけど、自分の担当業務でわからないことは他の課の同期に聞いたりすることが多いです。

前職の経験を活かせる場面はありますか？

伊藤：自分は今、工事を発注する側なんですけど、前職が発注される側だったので、この書類は早く出したほうがいいな、とかがわかりますね。ペースが遅くなるもどかしさもありますが、理由や根拠をしっかりと説明できるようにしています。

宇田：自分の職場では市民というより事業者を相手にしていますが、事業者の気持ちがすごく分かります。厳しいことを言わなきゃいけない時もありますが、大変なのはわかるんだけどな、と思いつつ歩み寄るようにしています。

転職活動について教えてください。

安井：学生時代に面接でうまく行かなくて苦手意識があったので、できるだけ面接の少ない教養コースで受けました。仕事後に深夜2時まで勉強して、翌朝7時から出勤して…という生活を1か月くらいしました。

近藤：私の場合は3月末に退職してから本格的に勉強して何とかって感じでした。実際、引っ越しとかいろいろバタバタしてたから実質1か月くらいかも。

伊藤：自分は7月くらいから意識し始めて、SPIの勉強をしようとしたんですけど結局直前までできず…自己PR試験は自由度が高かったのでもそこで挽回できた気がします。

転職、民間企業と迷ってる方へのメッセージ

近藤：市役所内での異動をたくさん経験するので転職なしにいるんな分野が経験できるってのはすごい魅力的なのかなって思います。

安井：採用ページ見ても新卒向けの内容しかなくて、ほんとに受かるのかなって思っていました。でも、入ってみたら転職者がめっちゃくちゃ多いことがわかるので気にせずに受けてほしいなって思います。女性だと将来的に長い期間休むこともあると思うと心配になると思いますが制度も整っているので安心して欲しいです。あとは、前職もホワイトで休みもそれなりに取れるんですけど、岡崎市ののがすごい。

伊藤：休暇取得に関してかなり融通が利きます。仕事内容の面では、目的は変わらないんですが、自分たちの利益を追求しなくて良いという点が大きく違いますね。

宇田：「隣の芝生は青く見える」じゃないですけど、どっちもいいなと思うところがあります。自分が何を大事にしているかで選んだらいいのかなと思います。そのうえで自分は岡崎市を選びました。



環境部廃棄物対策課
宇田 技師（化学職）
前職：製造業メーカー



教育委員会事務局社会教育課
近藤 主事（事務職）
前職：教育関係



上下水道部水道工事課
伊藤 技術員（土木職）
前職：ゼネコン



財務部納税課
安井 事務員（事務職）
前職：金融機関

SUPPORT

観光推進課では、入庁したその週に家康行列という一大イベントがあります。渡邊さんはその準備で忙しい合間を縫って気さくに話しかけてくださったので、すぐに課内で打ち解けることができ、イベント当日も課の方々と連携して業務にあたることができました。



今までは自分の業務を遂行することを軸に考えていましたが、人に教える立場になり、業務の背景や目的などを改めて考えるきっかけになりました。また、常にお手本でいられるように業務に対する姿勢を見直すことに繋がりを、自分も成長しました。

あなたの“やる気”と“能力”を伸ばす研修制度



経済振興部観光推進課
渡邊主事（平成28年度採用）

経済振興部観光推進課
山本主事（令和6年度採用）

岡崎市が求める人物像

柔軟性と チャレンジ精神

課題に対し、柔軟な発想をもって挑戦し続けることができる人

協調性と 着実性

様々な人と協調しながら、着実に仕事に取り組むことができる人

自律的行動型職員

自ら学び、自ら考え、自ら責任を持って市民のために行動する職員

情熱と 意欲

地域のために働くという情熱を持ち、何事にも意欲的に行動できる人

岡崎が 大好きな人

岡崎が大好きで、岡崎をより良くしたいと考えている人

キャリアイメージ



採用情報

公務員試験対策不要のS P Iを採用した試験も実施します。S P Iコースと教養（専門）コースのどちらかを選んで受験できます。試験日程などの詳細は岡崎市ホームページをご覧ください。
▶ <https://www.city.okazaki.lg.jp/index.html>

S P Iコース 教養（専門）コース



※技術職員・消防職員・保育職員は2次試験までとなります。
※試験内容やスケジュールは変更になることがあります。
詳細については、岡崎市ホームページや各試験の受験案内をご確認ください。

勤務条件

職 種	初任給（R7.4.1時点の見込み）	
事務職員 技術職員	大 学 卒	249,288円
	短大・高専	229,177円
	高 卒	214,922円

※上記の金額には地域手当を含んでいません（職務経験等を有する場合は、経験の内容あるいは期間に応じて給料が増額調整される場合があります）。
※その他の職種における初任給については、受験案内をご確認ください。

手 当	扶養手当、住居手当、通勤手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当などの手当が支給要件に応じて支給されます。
賞 与	期末・勤勉手当（ボーナス）は年2回（6月、12月）支給されます。
勤務時間	8：30～17：15 ※勤務場所によっては交代勤務又は変則勤務もあります。
休 日	土・日・祝日・年末年始 ※勤務場所により異なる場合があります。
有給休暇	年次休暇：年間20日 特別休暇：夏季休暇（5日）、結婚休暇、忌引休暇など